

はなわ 議会だより

2021
No.153

発行／福島県塙町議会
令和3年1月22日



寒さ厳しい新学期初日
(塙小学校登校風景)

12月定例会

役場庁舎整備検討へ(12月定例会) …… P 2 ~ 3
町政を問う(一般質問)…………… P 5 ~13
各委員会開催レポート…………… P 16~17



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会ツイッター
QR

役場庁舎の今後を検討へ

改築経費を含む補正予算を可決

庁舎改築とは
新しく建て直すこと

12月
のし
の会
の例
の定
のあ

一般会計補正予算1億616万円追加



建設から半世紀経過の役場庁舎

12月定例会は12月10日（木）から14日（月）までの5日間の会期で開催しました。町長提出の条例関係6件（選挙運動公費負担条例新設や、税特別措置条例の改正）、計画変更1件、大字と字区域変更1件、補正予算6件（一般会計及び特別会計）が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また11月30日付けで請願が提出され、12月10日日本会議後に付託を受けた総務常任委員会で審査を行い、最終日本会議で審議した結果不採択となりました。



吉田克則議員

賛成
喫緊の課題を優先すべき
町長は長期総合計画にある事業が町政ビジョンの基本としていたが、役場庁舎改築が突然新規計上された。現状は新型コロナウイルスや町人口減に対応する施策が優先で、無計画性を議会は許す訳にいかない。



賛成

吉村守広議員

賛成
町民負担を考えれば予算は適正
役場庁舎改築に関して、議員数名で庁舎内部を見てきた。今後の長期的な支払を見ても有利な起債が使用でき、決して町民の負担増にはならないのでこの補正予算は適正である。

反対



賛成

採決結果

議案第72号 令和2年度埴町一般会計補正 予算（第5号）	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決（賛成8：反対4）	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	—

○：賛成、●：反対 ※なお議長（割貝寿一）は採決に加わらない

補正予算内容と質疑

【主な内容】

- ・庁舎改築実施設計業務委託料
役場庁舎改築時に係る設計業務委託で、令和2年度中に事業着手することで、通常役場改築工事には使えない有利な起債が該当となる。
- ・湯遊ランドはなわ休業補償
令和3年1月中旬より、約1ヶ月間施設メンテナンスのため全館休館となるが、その際の固定費等を指定管理者の(株)埴町振興公社へ補償する。

質疑

- Q** 役場庁舎改築は、起債事業が平成29年度から開始されているのに、なぜ事業最終年度である今年度着手なのか。
A 平成29年当時、庁舎の簡易修繕で対応してきたが、町民の利便性を考えた場合大規模改修等が必要で、庁舎改築は基本的に起債対象事業とはならないが、今回は事業該当になるラストチャンス。今回着手できなければ、今後毎年5千万円ずつ基金に積んで20年後となるが、多額の基金を積み立てることが町民のためになるのかという思い。起債となれば分割払が可能で、町民のためを考えた負担の少ない事業だと考える。
- Q** 庁舎改築の起債償還見通しは。
A 令和6年度完成とすれば、償還は令和11年度から30年となる見込み。
- Q** 湯遊ランドはなわ休業補償はどのように算出したのか。
A 施設改修に伴い町から33日間の休業要請を行うもので、期間中の固定費や人件費を算出した。
- Q** 湯遊ランドはなわ事業分析委託料の詳細は。
A 経営健全化に向けコンサルに委託し、プロの視点から事業分析や施設改修の助言をいただきよりよい運営を目指す。

選挙運動公費負担 条例制定

【主な内容】

埴町議会議員と埴町長の選挙における、選挙運動用自動車使用や選挙運動用ビラ作成、選挙運動用ポスター作成に係る各種費用について、上位法である公職選挙法が一部改正されたことに伴う新しい条例制定。
(全員賛成で可決)

選挙運動の公費負担内容（新設条例より）

項目	内容	金額
1. 選挙運動用自動車使用に係る費用限度	ハイヤー方式	322,500円
	個別契約方式	179,300円
2. 選挙運動用ビラ作成に係る費用限度	町長選挙の場合	37,550円
	議員選挙の場合	12,016円
3. 選挙運動用ポスター作成に係る費用限度	上限額	75,753円※1

※1 ポスター掲示場51箇所の場合

請願審査

【請願の内容】

・核兵器禁止条約は、国際憲章等に反する違法なものとして核を明文化した。
・条約内容は、あらゆる核兵器に関する活動を禁止し、被爆者への援助責任も明記された。
・条約への参加や調印・批准を求める意見書を総理と外務大臣へ提出してほしい。

少数意見

金澤太郎議員

**非核宣言の町として
意見書提出を**
核兵器は非人道的な違法兵器として明文化されたが、唯一の被爆国として核兵器全面禁止に努力すべきで、埴町も非核宣言をした町として国へ意見書を提出すべき。



少数意見
委員会審議で多数を得られなかった意見のこと。

採決結果

請願第2号 日本政府に核兵器禁止条約の 調印・批准を求める 意見書提出に関する請願	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
請願不採択（賛成5：反対7）	○	●	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	—

○：賛成、●：反対 ※なお議長（割貝寿一）は採決に加わらない



あおと 青砥 議員
ようぞう 與藏 議員

結び・絆

令和2年4月1日から11月14日までの駆除捕獲数は128頭。それ以降から12月4日までの狩猟期間は36頭。

議案等の審議結果一覧表

議案第64号	埴町議会議員及び埴町長選挙の選挙運動公費負担条例制定	議案第72号	令和2年度埴町一般会計補正予算(第5号)	原 案 可 決	不 採 択
議案第65号	埴町表彰条例の一部改正	議案第73号	令和2年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		
議案第66号	埴町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	議案第74号	令和2年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第67号	職員の給与に関する条例の一部改正	議案第75号	令和2年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第68号	埴町税特別措置条例の一部改正	議案第76号	令和2年度埴町介護保険特別会計補正予算(第3号)		
議案第69号	埴町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	議案第77号	令和2年度埴町上水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第70号	埴町辺地総合整備計画の変更	請願第2号	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出請願		
議案第71号	大字及び字の区域変更				

町の諸課題への早期対策を

職員と共に対応しており
議会からの協力もお願いしたい

【質問】 水稲カメムシによる埴町の斑点米被害状況は。
【答弁】 色彩選別機を通して一割、二等米が2割弱と昨年比約10倍の被害と推測する。

【質問】 行政がこの問題へ積極的に対策をするべきで、昨年雨で中止となった河川焼き払いを検討してはどうか。
【答弁】 検討してみる。
【質問】 昨年の台風19号被害復旧対策の進捗状況や今後の予定は。
【答弁】 道の駅付近の久慈川と川上川合流点の川砂除去が始まり、徐々に進んでいる。

【質問】 植田地内の河川内土砂堆積物除去はどのまで話が進んでいるのか。
【答弁】 現地調査が実施されたが、県による事業はまだ聞いていない。
【質問】 道の駅付近の川砂を、土のう袋や家庭などでの再利用は可能か。
【答弁】 県管理であり、再利用可否について聞いてみる。
【質問】 イノシシ被害に
【答弁】 令和2年4月1日から11月14日までの駆除捕獲数は128頭。それ以降から12月4日までの狩猟期間は36頭。

【質問】 狩猟期間終了後の駆除を期待する農家の人が多く、猟友会の駆除隊だけでは限界があり、区長や狩猟免許を有する人などにも駆除を許可する体制が必要ではないか。
【答弁】 町職員にも狩猟免許取得者がいるので対応したい。
【質問】 役場庁舎整備への賛否はそれぞれあるが、まずは町民理解を深めるため、誠実に説明する必要があるのではないか。
【答弁】 現状庁舎の耐震改修工事の必要性やその費用、将来の町政に合った機能性、建設期間、補助金など、改修か改築か町民の疑問へ丁寧に説明する。

【質問】 新型コロナウイルス感染者を出さない対応や、感染者の人権を守る対策は。
【答弁】 情報を注視して感染拡大対応や景気対策、感染者の人権保護対策をする。
【質問】 埴厚生病院の対応は。
【答弁】 新型コロナウイルス対応病棟はないと認識している。感染の心配があればまず電話をしてから病院入口で問診。その後PCR検査の必要性を判断されることとなる。

新型コロナウイルス相談窓口
☎0120-567-747
☎0120-567-177
☎024-521-7262

質問登壇議員一覧		ページ
あおと 青砥 議員	・町の諸課題解決施策	P 5
よしだ 吉田 議員	・町の知名度アップ戦略 ・農業施策 ・民民契約の解釈	P 6
きくち 菊地 議員	・役場庁舎改修関連 ・新型コロナ対策	P 7
すずき 鈴木 議員	・イノシシ被害軽減策 ・旧焼酎工場跡地利用 ・台風被害からの復旧など	P 8
かなざわ 金澤 議員	・こども園の遊具設置 ・役場内システム危機管理	P 9
よしだ 吉田 議員	・役場庁舎改修 ・町政の諸課題	P 10
しもじゅう 下重 議員	・米所得確保策 ・B & G プール利用状況	P 11
ななみや 七宮 議員	・町づくりの諸課題 ・役場庁舎整備	P 12
すずき 鈴木 議員	・新型コロナ対策 ・町政の諸課題	P 13

町政を問う



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像をご覧いただけます。



よしだ ひろあき 議員
吉田 広明

民間と民間の契約に関して
議場で論ずるべきではない



明治神宮百年祭パンフレット

明治神宮の百年祭に合わせた町の知名度を高める戦略は

塙町の桜が出荷される時に明治神宮に植えられた唯一の桜として伝えたい

質問 塙町のヨウコウ桜が、明治神宮の百年祭に合わせ植樹が行われ、町長も出席されたが、これは大切なきっかけで、町の知名度を上げる今後の戦略を伺う。

答弁 「神宮の森芸術祭・東北桜奉納祭」で、希望ヶ丘花木生産組合の生産した桜を奉納した。明治神宮にある三万六千本ある樹木の中で、花の咲く桜が唯一、塙町の桜となった。本来は、芸術祭終了後に塙町に戻る予定だったが、明治神宮第十一代宮司中島精太郎氏がこの桜に感銘し、神宮内に植樹したいとの思いから、最も適した場所に植樹された。一般の立ち入りが制限されている所で、大々的な宣伝は難しいが、町内の桜が出荷される時に、明治神宮の森で唯一の桜の木だと伝えていきたい。また、塙の竹を神宮内の竹垣に使いたいとの話も頂いている。

契約の改正民法で、「契約自由の原則」が明文化された

フラワーキングの契約は、口頭契約でも問題がないと解している

質問 民法改正で、「契約自由の原則」が明文化され、民契約は、企業独自基準か、契約毎に両者の協議で決められても違法性はないものと理解しているが、認識に違いがあるのか。

答弁 民間と民間の契約に関しては、口頭契約の場合でも町としては、問題がないと解している。

一般質問

定住促進や農業振興は可能性があると考えているが

町民と町と議員が一緒に頑張ってぜひ取り組みたい

質問 総務省が5月に発表した休業者数は、前年同月の117万人から、過去最多の597万人で420万人増加した。この状況が続けば、休職者は失業者になっていく。様々な要因で、地方に移住を考えている人達もおり、これは町にとってチャンスではないか。

答弁 コロナ禍で東京の人口が減少している。テレワークなどを考えると、移住促進で人口増加も考えられ、ぜひ取り組みたい。

質問 新規就農の障害は投資が大きく、従来の融資制度での返済はリスクである。業務委託の「農業センター組織」を作り、農地紹介や援農プロジェクト、農機具貸し出し、町内の農業者を講師とする支援など、従来の農業

答弁 実現に向けて法的な問題や予算、補助事業利用可能な場所などを担当課で調査研究をし、ソフト事業と連携しつつ北野松岡線開通を見据え事業化を考えたい。

役場庁舎の改修か改築はいつ決まるのか

1月中に私(町長)が決める

質問 役場庁舎整備検討委員会の構成は。

答弁 行政区長連合会、農業委員会、民生児童委員協議会、東白連合婦人会、金融機関、JA、商工会、社会福祉協議会の代表8名。

質問 改修か改築はいつ決まるのか。

答弁 検討委員会の意見を聞き、1月中に私(町長)が決める。

質問 町民の中にはこの経済状況下でと思う方もいると思うが、町民の理解はどう考えているのか。

答弁 耐震、防災、利便性、また財政面でも有利な起債ができる現時点が、町民にとって最大の利であるという事を説明していく。

質問 坪単価2百万円は、何を基準に算定しているのか。

答弁 過去の建築工事業や、直近の他自治体庁舎建築費を参考に、余裕を持った算定にしているが、可能な限り圧縮すべきと考えている。

質問 設計委託は。

答弁 委託料や時間的制約がありコンペ方式ではなく一般競争入札になると思う。

質問 令和元年度の実質公債費比率は8%だが、庁舎改築の起債によって比率はどうなるか。

答弁 令和3年度以降10%以下で推移する見込み。

新型コロナによる人権への相談窓口は担当課で対応していく



1月中に方向性が決まる役場庁舎

質問 新型コロナによる誹謗中傷、差別への相談窓口設置は必要だと思いが、何か対策はあるか。

答弁 人権擁護や医療対策の観点からも、今後担当課で対応していきたい。

きくち てつや 議員
菊地 哲也

町民への丁寧な説明が大前提

一般質問



鈴木 茂 議員

今のイノシシ対策では米の被害は拡大してゆく

水稲のイノシシ被害に 罨猟期拡大を！

町単独では難しく 東白川郡で対応したい

質問

答弁

【質問】 令和2年中のイノシシによる水稲被害は7ha超と、甚大な被害があったと思うが、罨猟拡大によって被害を防ぐしかなく町の対応を伺う。
【答弁】 町単独では対策が難しい。
【質問】 今のままでは被害は拡大する。農家を切り捨てるのか。
【答弁】 切り捨てることはしない。町村会を含めた東白川郡で対応すれば可能性もある。



イノシシ被害の水田

一般質問

旧焼酎工場売却の詳細は

酒造免許取得後に 焼酎・ウイスキーを造る企業へ譲渡したい

【質問】 売却の相手先と物件詳細は。
【答弁】 ㈱レオコーポレーションで、建物と周辺の土地約4千5百㎡。
【質問】 売却の詳細は。
【答弁】 酒造免許取得後の令和3年3月頃売却となる見込みだが、売却価格については現状未算定。
【質問】 どのような酒を造るのか。
【答弁】 麦焼酎とウイスキーを造る予定と聞いている。
【質問】 この会社と町の関わりは。
【答弁】 町内の遊休農地で原料の大麦を作りたい。また製造した酒を町内での提供や、ふるさと納税返礼品など特産品にしたい。

その他の質問

【質問】 昨年の台風19号で被害を受けた地区の対策は今後どうするのか。
【答弁】 工事用排水ポンプ4台を、大雨想定時にレンタルして備えたい。また家屋かさ上げ補助も検討したい。
【質問】 農業振興策の中でも稲作は中心であるが、今年のカムシ被害がひどく防除の補助などはできないか。
【答弁】 前向きに検討したい。

質問

答弁

こども園への遊具移設は

令和3年度に旧塙幼稚園や 保育園から移設する計画

【質問】 こども園設計の主要コンセプトは。
【答弁】 多世代交流を図りながら子ども達の健全育成が可能な幼保一体型こども園がコンセプト。空間は明るく開放的で、文化的な町の誇りになる施設。耐震面や防犯面、環境に配慮した。
【質問】 来年度遊具移設と計画されているが、具体的な遊具は。
【答弁】 旧塙幼稚園より、8連登棒、ジャンブルジム、3連鉄棒。旧塙保育園より大型コンビネーション（アイランドコテージ）を計画している。

【質問】 保育士不足による待機児童は解消したか。また、職員募集要件は適正か。
【答弁】 待機児童は解消されていない。募集要件は今年度法定化された内容で適正。
【質問】 こども園での教育実習受け入れ状況は。
【答弁】 過去3年はいたが、今年度は新型コロナの影響もあり0名。なお高校生のインターンシップを10名受け入れた。



金澤 太郎 議員

発想の転換が必要！

町の農政課題に どう対応するか

施策があれば 積極的に周知や活用する

【質問】 小規模家族農業の現金収入に直結する施策はあるか。
【答弁】 ハウス補助等に活用できる農業施策が公開されれば、積極的に周知し活用していく。
【質問】 町内遊休農地の現況は。
【答弁】 再利用可能が115.4ha、再利用困難が192.2ha。
【質問】 再利用可能な遊休農地はどうするのか。
【答弁】 花木含め柔軟に対応が必要。町民でも活用事例があり、様々な意見を頂きたい。



交付率が上昇した マイナンバーカード

役場内システムの危機管理は 賠償保険加入やネットワーク切り離しで対応している

【質問】 不正アクセス等で個人情報報流出時の賠償対策は。
【答弁】 町に起因する損害賠償に備えた総合保険に加入しており、個人情報流出賠償も含まれる。
【質問】 町で利用するシステムの外部侵入対策は。
【答弁】 インターネットとは切り離したネットワークで運用している。
【質問】 埴町のマイナンバーカード発行状況は。
【答弁】 令和2年11月末時点で交付枚数1132件、交付率13.4%。
【質問】 マイナンバーカードの付帯サービスが増える予定だが導入の考えは。
【答弁】 住民票等のコンビニ発行を検討したが、維持費が高額で見送った。今後費用対効果を含め、真に必要な住民サービスかどうか検討する。

一般質問



よしだ かつのり 議員
吉田 克則 議員

長期総合計画や全ての計画は
何のためにあるのか非常に疑問!

役場庁舎改築は問題と思うが

町民にとって利益になること

質問

答弁

質問 10月14日議会全員協議会で、役場庁舎改築の説明があったが、あまりにも突然で計画性もなく、町施策のあり方として問題とと思う。現在町がやるべき施策は新型コロナウイルス対策ではないか。

答弁 町では新型コロナウイルス感染症対策を数々行っている。マスクや消毒液の配布、子育て世帯応援臨時交付金、エール商品券、公共事業施設の休業補償等に対応してきた。

質問 PCR検査の無料化は検討に入らないか。

答弁 他市町村の動向を注視しながら東白川郡で進んでいければと思う。

一般質問

湯遊ランドはなわ管理費が増加傾向だが管理費を負担することは当然

質問 湯遊ランドはなわ施設管理費が増加傾向にあるが。

答弁 振興公社が無ければ、建物自体に町が直接入って運営や維持管理をしなければならぬので、管理費負担は当然と解している。

質問 湯遊ランドはなわ敷地内に設置した天体望遠鏡の利用状況は。

答弁 新型コロナウイルスの影響で、現在利用されていない。

その他の質問

質問 町出資の誘致企業が、民有林や国有林を伐採したと月刊誌に掲載されたが、事実関係は。

答弁 誤伐ということで始末書を提出した。内容は錯誤伐採の経緯、原因、その後の経過、謝罪説明、ドウダンツツジ相当分の代金支払い報告と今後の対策について。町長と埴町観光協会がそれぞれ提出した。

質問 町のデジタル化や行政手続きの押印省略化の取り組みは。

答弁 具体的な方針等は示されていない。今後、必要な検討をしていく。



役場庁舎改築計画がある本庁舎と改築(50m×20m)位置

質問

米生産への所得確保につながる対策は

答弁

これまで以上に非主食米への転換を

質問 新型コロナ拡大による主食用米の需要低下で、米余りから米価下落を招く恐れが見込まれるが、まち独自の米生産者所得確保につながる対策は。

答弁 主食用米から飼料用米に転換した場合、一反あたり経営所得安定対策で、9万2千円が交付され、ここに町産地交付金4千円を上乗せし9万6千円となる。細かい要件はあるが、これまでに以上非主食用米への転換を促したい。

質問 県は2021年産米作付け面積を3500ha減とする目安を示しているが、埴町の減反割り当ては。

答弁 減反割り当ては22haである。

質問 埴町は東京都練馬区や葛飾区と防災協定を締結し、災害対応に埴町産緊急備蓄米倉庫を町内に建てる考えは。

答弁 東京都江戸川区との話し合い中で計画されたが、現状新型コロナウイルス禍の影響でストップしている。

の収束を願う「福」の文字がデザインされている。会員への何らかの後押しや町の物産品にはならないのか。

答弁 埴町産としては難しいが、別な形で支援していきたい。

質問 米価下落が懸念されている中、今後の農業経営に向けてコスト削減に着手しなければならぬのでは。

答弁 コスト削減には圃場の大規模化が必須。そのため人・農地プランの実質化に取り組み、その中に基盤整備事業も含まれている。また埴町産米のブランドにも取り組んでいきたい。



しもじゅう よしと 議員
下重 義人 議員

新型コロナ感染
いつまで続くのやら...

農業者のみなさんへ
人・農地プランのご紹介

将来の人と農地について! 話し合いませんか?

- 自分、あと何年農業を続けていけるかな
- この先、耕作をやめちゃう仲間が増えていきそうだな
- いざという時、だれか農地を引き受けてくれる人はいらぬかな

だから今
5年先、10年先の地域の農地を
だれが、どうやって守っていくのか、話し合っていきたい。

人農地プランの資料

B & Gプール改修工事後の利用状況は前年度比65%である

質問 令和元年に大規模な改修工事後のB & Gプール利用状況は。

答弁 新型コロナウイルスの影響により、前年度比65%の利用状況だった。今後は昇温設置等により水温が適度になったので、新たに初心者向けの水泳教室などを計画したい。

旧焼酎工場のその後は(株)レオコーポレーションへの賃貸借契約を締結

質問 旧焼酎工場の再利用計画の進捗状況は。

答弁 令和2年6月に、千葉県の(株)レオコーポレーションへの賃貸借契約を締結した。その後新型コロナウイルスの影響で工場稼働に向けた工事が遅れ、現状から推測すると令和3年3月に酒造免許が取得できる予定だ。



ななみや ひろき 七宮 広樹議員

重見天日
悪い状態を脱し再び良い
方向へ向かうこと

町づくりの諸課題に対して

実施できるよう前向きに検討

質問

答弁

質問 元気ふくしま地域づくり交流促進事業の概要や計画と今後の展開は。

答弁 道の駅はなわを核とし、地域資源の活用と未来に希望が持てる地域社会を推進していく。

質問 旧埴保育園跡地利用の進捗状況は。

答弁 民間の社会福祉事業者から実施決定の連絡があった。

質問 旧埴幼稚園の教室を、学童保育に活用する用途変更に伴う建築確認と、改築工事完了後の埴小学校からの移行時期は。

答弁 令和2年度中に工事が完了し、令和3年度の長期休暇から移行したい。

質問 旧常豊小空きスペースに、現在の常豊地区公民館機能を移して欲しいと地域の要望があるが。

答弁 地域からの意見を取りまとめたうえで進めたい。

質問 林業アカデミーの誘致活動で組織された、埴町林業振興協議会の活用と今後の展開は。

答弁 町の林業を推し進めるために、情報共有しながら歩んでいきたい。

質問 イノシシ駆除対策に、ラッキョウやシヨウガを植えて成功している他の自治体を参考に実証実験の考えは。

答弁 色々なイノシシ対策をまとめたチラシを作成し、町内に配布していきたい。

質問 風呂山公園のツツジが、広範囲にわたリイノシシ被害を受けているが、早急に食い止める手段と対策は。

答弁 猟友会に捕獲を依頼している。

一般質問



民間利用の話が進む旧埴保育園

役場庁舎の現状は

改修が改築は町の将来に対する大きな意思

質問 現状の役場庁舎は、頻繁に起きている自然災害に対して職員の命を守ることでできるのか。また三密状態の職場環境で、安全確保が図られているのか。

答弁 庁舎外見より内部の経年劣化がひどい状況で危険である。

質問 現状の役場庁舎は、頻繁に起きている自然災害に対して職員の命を守ることでできるのか。また三密状態の職場環境で、安全確保が図られているのか。

答弁 現状は、役場機能が停止した場合、住民の方を受け入れる避難施設としての役割は期待できない。

質問 障がい者利用に対応した設備がないが、現状はどう対応しているのか。

答弁 やさしい庁舎ではないが、現状はその都度職員が対応している。

質問

コロナ禍に対する町の対策は

答弁

地方創生臨時交付金を有益に活用したい

質問 コロナ対策に伴う地域振興券2万5千円は全町民に配布されたか。

答弁 住民登録でもわからなかった3名以外は配布できた。

質問 近隣他町村でも同様の対策がされたが、どのような状況か。

答弁 棚倉町はクーポン券1人1千円、給付金は1人1万円。矢祭町は1世帯2万円プレミアム

質問 コロナ対策に伴う地域振興券2万5千円は全町民に配布されたか。

答弁 住民登録でもわからなかった3名以外は配布できた。

質問 近隣他町村でも同様の対策がされたが、どのような状況か。

答弁 棚倉町はクーポン券1人1千円、給付金は1人1万円。矢祭町は1世帯2万円プレミアム

質問 第3次地方創生臨時交付金を有益活用すべく、予算再編成時は臨時会で議員の了承を得たい。

答弁 A1体温検知カメラ5台はどこに設置してあるか。

質問 道の駅に2台、役場、湯遊ランド、レストラン天領に各1台。

質問 町内の園児や児童、生徒の体温計測はどのようにしているのか。

答弁 各家庭で計測し、管理されている。

ドウダンツツジ伐採の地権者説明は

悦明と謝罪をし代金を支払った

質問 ドウダンツツジ伐採に伴う地元住民や山林地権者への説明等はどうか。

答弁 説明と謝罪をし代金を支払ったが、共有者1名の住所が不明だった。

質問 鮫川村山林内の樹木伐採により、山林所有者から被害届が提出された情報は。

答弁 承知していない。

質問 フラワーキングがダリちゃん号を使用し東京へ花卉を輸送していると聞くが。

答弁 令和2年5月中旬まで数回使用したが、その後は民間運送会社による出荷。



輸送に使用されたダリちゃん号

その他の質問

質問 笹原小学校及び幼稚園の統廃合について、どのような状況で実施されるのか。

答弁 検討する必要はあるが、現状実施の予定はない。

質問 今年度敬老会支援事業を中止したため、各地域の敬老会は中止されたが、予算の活用はどのように行うか。

答弁 高齢者の対策事業に活用したい。

質問 町税の滞納状況は現状どのように。

答弁 合計776人で約1億5千万円。対応は督促状の発行や各種調査や相談を行っている。



すずき もとひさ 鈴木 元久議員

せんゆうこうらく 先憂後楽

一般質問



あの質問はどうなったのか?

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

移住定住と新規就農施策をどうするのか 令和元年12月定例会

国道118号線から工業団地までの道路改良工事で、町道西河内塩沢線も延長し、国道289号線へ接続する計画があるのか。また、町内随一の日照条件に恵まれた地の利を生かした農地付き宅地などを開発して、都会からの若い農業移住者に小規模住宅と畑や農業倉庫が建てられる、就農住宅プランなどの考えはあるのか。

答弁

少子化の中で早急に検討しなければならない

県との事業調整会議の中で県道昇格を要請しており、就農者を呼び込む施策も必要と考えている。

その後

ひとつの手掛かりとして考えたい 令和2年12月定例会

移住定着農業者向け地区の設置は、北野松岡線の実現に伴い国道118号線と常豊地区とのアクセスが大幅に改善される。日照時間も多い地域なので、これらを考えると一番先に実現可能であると考えられる。様々な調査研究をしながら、事業化に向けて考えていきたい。

林業アカデミー誘致の考えは 令和元年6月定例会

林業は埴町の主要産業で、福島県が林業従事者の育成を目的とした林業アカデミーを設立するとしているが、埴町への誘致を検討するべきではないか。

答弁

埴町の優位性を訴えぜひ誘致を進めたい

埴町は誘致するにかなり条件が揃っていると認識している。町有施設や森林面積、林業事業体も複数あることは、他地域にも負けてないという強い思いもあって、ぜひ誘致に向けて努力したい。

その後

林業アカデミー実習地に埴町が選定される

令和元年9月に、埴町林業振興協議会が福島県に対する誘致活動を行い、令和2年1月には埴町議会としての要望書を提出。同年2月に林業アカデミーの本拠地は郡山市内に決定されたが、アカデミーの実習地として埴町が12月に選ばれ、町や議会、林業関係者が一体となった活動が成果を生んだ。



最新装備の林業従事者

教育現場のICT化がより一層加速 タブレット端末555台を町が購入

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残さず、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業改善

文部科学省の施策イメージ

11月

臨時会の
あらかし

令和2年11月16日に第7回臨時会(会期1日間)が午前10時より開会されました。条例改正3件と財産の取得1件の計4議案について審議を行いました。

財産の取得

国のGIGAスクール構想実現のため、埴町内の小中学校すべての児童、生徒、教職員に学習用タブレット端末を1人1台整備し、ICTを活用した教育推進と、非常時の休校でもオンライン学習による対応も可能にさせるためのタブレット端末や関連機器など総額3454万円の購入。

- Q** タブレット購入555台の根拠は。
- A** 令和3年度の児童生徒及び教職員の数が620名で、既存68台に今回の購入分と合わせて合計623台となる。
- Q** 月額1万円程度サポート費用がかかるのであれば、技術者雇用という考えはないのか。
- A** 国や県へ補助について働きかけると同時に、雇用についても検討すべきであると思う。
- Q** 非常時の使用方法は具体的にどうするのか。
- A** 自宅学習ができる環境を整える目的で端末貸し出しをする。
- Q** 貸出時に山間部などの通信条件不利地はどうするのか。
- A** 全町で光回線が入っているのでカバーできるが、今後さらに検討が必要である。
- Q** wi-fiルーター20台で足りるのか。
- A** ネット環境のアンケートを実施し、概算で20台と計上した。(全員賛成で可決)

議案の審議結果

議案第60号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例改正	議員期末手当算定基礎割合(100/162.5 → 100/157.5)の減額変更	原案可決
議案第61号	町長等の給与及び旅費に関する条例改正	町長期末手当算定基礎割合(100/167.5 → 100/162.5)の減額変更	
議案第62号	職員の給与に関する条例改正	職員期末手当算定基礎割合(100/127.5 → 100/122.5)の減額変更	
議案第63号	財産の取得について	町内の小中学生と教職員が使用できるICT教育用端末等の購入	

閉会中所管事務 調査レポート

予算決算常任委員会報告

埴町振興計画（令和3～5年度）案について

- ・調査日：令和2年12月2日（水）
- ・場所：議場
- ・出席委員：吉田克則委員長
ほか委員全員（計：12名）
※議長は職務出席
- ・説明員：町長、教育長、各課等の長
- ・調査まとめ
- (1) 今後10年間の財政見通し
- ・町税は概ね8億円台、交付税は30億円台で推移していく見込みで、年度ごとの国や県補助事業への取り組み状況にもよるが、歳入歳出予算規模は55億から60億円台の中期的見通し。
- (2) 委員会としてのまとめ
- 個別事業計画について説明を受け、委員間討議を経て本計画案全般を了承と結論付けたが、有利な財源確保と基金活用のバランスを取り、長期総合計画に沿う町財政規模に見合った事業の実施や予算計上を望むものである。
- (3) 委員会内での主な質疑（抜粋）
- Q：デイサービスセンター整備事業の計画詳細は。
- A：場所は移設せず現行のまま。建物は木造二階建てで各種事務所スペースを設ける計画。
- Q：防災マップ見直し詳細と、防災計画改定との関連性は。
- A：防災マップ更新は、令和2年度に県が久慈川周辺の浸水マップを公表するが、川上川が令和3年度となっており、それを受けて4,000冊の防災マップを新規作成する。地域防災計画については、新規防災マップをベースに計画を新たに作り直す。
- Q：賄い材料購入事業の国県支出金は、どのように算出しているのか。
- A：国県支出金は地産地消食材に係る割合で算出されるため、計上された金額が見込まれる。

- Q：公用車400万円のトラック購入とあるがその詳細は。
- A：規格は2トンダンプかダブルキャブのダンプを予定している。
- Q：教育支援委員が現状7名で足りるのか。
- A：支援員の配置状況は、支援すべき子どもの状況により増員も今後検討したい。
- Q：こども園来客駐車場の詳細は。
- A：こども園南側の製材工場跡地で、約50台分の駐車スペースとなる見込み。更地になった状態で購入する予定である。
- Q：地域公共交通運行再編について、現状福島交通の路線廃止や見直しをするのか。またタクシー利用助成との兼ね合いはどうか。
- A：埴町公共交通活性化協議会において、様々な交通体系とスクールバスとの関連性を含めて検討する。またタクシー利用助成も利用者が増加傾向で、町全体の公共交通体系全般を見直すこととなる。
- Q：役場庁舎改築時に、購入計画である国有地の取引手法は。
- A：財務省と協議する事となるが、取引手法は不明。



みんなで創る未来のはなわ町

総務常任委員会報告

高齢者が安心して住み続ける町へ

- ・調査日：令和2年10月22日（木）
- ・場所：委員会室及び現地
- ・出席委員：七宮広樹委員長
ほか委員全員（計7名）
- ・調査まとめ
- 今年度、高齢者が安心して住み続けることのできる町づくりの推進及び移住定住の促進を図るため、埴町高齢者等共同住宅（シェアハウス）が町所有の建物を活用し、工事費1,691万円をかけ大規模な改築工事が完了した。ロケーションは埴町商工会の南側に位置し、役場や病院、商店街に近く利便性も良い。また敷地内には駐車スペースも確保されていた。現地調査の前に、平面図上で利用者の使い勝手に配慮した間取りを確認し、関連条例について説明を受けた。調査時点では利用者はいないが、冬季期間に利用する高齢者の動向に注視しながら、町民交流の場として、また埴町内での生活体験の場として、使用方法等を照査しながら、町民のために役立つ施設になる事を願う。

その後現地に移動し、建物内のバリアフリー、手すり、IHクッキングヒーターの設備を確認した。利用者が安心安全で快適に過ごせる住環境が確保されていたが、寝具やエアコン以外の暖房器具は持ち込みとなるため、リース会社の斡旋など使い勝手について今後協議すべきと感じた。



シェアハウス調査のようす

経済常任委員会報告

町づくり施策の現状調査を行う

- ・調査日：令和2年10月13日（火）
- ・場所：委員会室及び現地
- ・出席委員：下重義人委員長
ほか委員全員（計6名）
- ・調査まとめ
- (1) 自転車活用町づくり
- 令和元年に「三角形の道」が全国4番目の認定コースとなり、「埴町サイクルツーリズム推進協議会」が設立された。さらに東白川郡4町村の広域による「東白川地方自転車活用推進協議会」も設立され、令和2年に5年間の推進計画を策定した。国土交通省も「奥久慈街道」をモデルルートに認定した。今後は自転車活用推進により、主要道路の速やかな改良工事や健康づくり、観光、地域振興及び誘客につながる事を期待する。
- (2) ダリア生産体制など
- 平成9年からダリアを中心とした観光の町づくりが始まり、平成22年から本格的に「産業」として「埴町ダリア切花生産推進協議会」を設立し出荷を開始した。しかし生産者の増

加は思わしくなく、27年以降販売額も伸び悩んでいる。今後は新品種の確保、品種の絞り込みや、流通方法の見直しも必要となってくる。海外への展開は（株）フラワーキングと契約を交わしている。町、生産者にとってダリア生産が農業所得の増大や、町の更なる振興につながる事を期待している。



PR用パンフレット

議会だより モニターさんの声

前回 10 月 16 日発行の議会だより 152 号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

1. 表紙・裏表紙について
 - ・かわいらしい園児の姿に心がなごむ。
 - ・表題の文字を毎回町内の小中学生から募集してみてもどうか。
2. 9月定例会関連記事について
 - <前年度決算審議>
 - ・科目ごとに質疑応答形式の記載は読みやすい。
 - ・事業実績も写真と一緒に金額があって分かりやすい。
 - <議案審議など>
 - ・文字量が多いページは読むのに苦労する。
 - ・議員発議の意見書は、詳細をもう少し掲載すべきだった。
3. 一般質問記事について
 - ・質問項目が重複した場合の掲載調整は不要ではないか。
 - ・同一質問でも、質問角度が違うため読者もより多くの情報が得られるのでいい。
4. 後半ページについて
 - ・コロナ禍において「傍聴者インタビュー」は一考しなければならない状況ではないか。
5. その他ご意見
 - ・特集記事で、3～5年度の埴町をどうしたいかという目標を全議員にインタビュー形式でシリーズ化してはどうか。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



モニターになり、毎回意見や感想を提出するのは正直大変ですが、遠い所にあると思っていた議会が、少し身近に感じるようになりました。議会だよりを良く読むようになったからだと思います。議会だよりは、

議会だよりは意外と身近な存在

議会を分かりやすく伝えるために、毎号改善を加えているのがわかってきました。ただモニターにならなくても、「読みたい」と思える議会だよりにするためにはどうしたらよいか。またより良い議会だよりにするにはどうしたらよいか。知恵を絞ってこれからもモニター活動にはげみたいと思います。



東日本大震災や集中豪雨、新型コロナウイルスと不幸な出来事が続けざまに襲いかかってきている。今ほど生命や健康の危機、暮らしや経済の悪化にさらされている時はない。このような中で、6月定例会ではコ

議員活動にエールを

ナ給付金関連の質問を数多く行い、町民1人あたり2万5千円の商品券配布にもつながったのではないかと。力強い議会活動に大きな拍手を送りたい。今町には他地域にはない強みもある。一方で弱みもある。今後は町の基本計画に関する質問等を行い、町民の切なる願いの実現に寄与してほしい。今後議会だよりがさらに町民との良き架け橋となることを祈念します。

議会のできごと

町村議会議員研修会



10月8日開催研修会のようす

町村議会議員研修へ参加

10月8日(木)午後1時からユラックス熱海(郡山市)で、福島県町村議会議長会主催の議員研修会が行われました。前総務大臣の片山善博氏による「ポストコロナの地方自治を考える」と題した講演では、コロナ禍による非常事態だからこそ、住民から意見を聞いて様々な問題に立ち向かうべく、議会を開き討論する事の重要性を説いていました。

また、「今後の政局・政治の行方」について、ジャーナリストの角谷浩一氏が自身の取材等からの経験や見解を話されました。なお、会場には県内各地から参加議員が一堂に会する研修でもあったため、感染症予防の観点から様々な対策が施され、例年とは違う開催となりました。

議会活動出欠状況

令和2年10月1日 ~ 令和2年12月31日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
2.10.1	広報常任委員会(議会だより編集)	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
2.10.7	広報常任委員会(議会だより編集)	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
2.10.8	福島県町村議会議長会主催議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○
2.10.13	経済常任委員会(町づくり施策の現状)	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	○	○	—
2.10.14	全員協議会(役場庁舎改築)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.10.22	総務常任委員会(シェアハウスと福祉施策)	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	○
2.11.16	議会運営委員会(臨時会運営)	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
2.11.16	11月臨時会(条例改正、財産の取得)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.2	予算決算常任委員会(振興計画審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.2	議会運営委員会(12月定例会運営)	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
2.12.4	全員協議会(教育点検評価報告など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.10	12月定例会(1日目:議案説明、請願審査付託)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.10	総務常任委員会(請願審査、閉会中審査内容決定)	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	○
2.12.10	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—
2.12.10	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
2.12.11	12月定例会(2日目:一般質問6名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.14	12月定例会(3日目:一般質問3名、議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.14	全員協議会(議会報告会開催について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.12.14	議会運営委員会(12月定例会検証)	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○

○出席 ー該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：植田青年会
 活動場所：植田区内
 会長：菊地洋平 TEL 43-0506
 会員：15名

新型コロナを吹き飛ばせ！

植田青年会のメイン活動は毎年8月13日に開催される盆踊りです。焼き鳥、焼きそば、生ビール、おもちゃなどの夜店を出し懸賞踊りでたくさんの商品も当たります。昔は養蚕神社のお祭りだった盆踊りですが、会員が減少する中で先輩達や植田区民の皆さんの協力を得て今も続いています。

令和2年は新型コロナの流行により、盆踊りなど青年会行事はすべて中止となりましたが、新しい年は新型コロナ収束を願い、再び楽しい仲間たちと活動したいです。



地域を盛り上げる会員

編集後記

あけましておめでとうござい
ます。

令和2年を振り返ると、新型コロナ禍に振り回された年でした。

1月に国内第一例目となる武漢旅行歴のある感染者が確認され、4月には緊急事態宣言が発令されました。一度は落ち着いた状況でしたが、7月に第二波、12月には第三波と一向に収束の兆しが見えません。

議員になって九ヶ月が過ぎましたが、様々な行事が中止となり、議員活動にも少なからず影響が出ました。令和3年もウィズコロナは続くと思われ、引き続き三密の回避、手洗い、消毒、マスクの着用、咳エチケットを徹底し、新型コロナ感染の拡大を防止したいものです。

吉村守広

あなたも議会を傍聴してみませんか

令和3年3月定例会は
3月10日(水)からの予定です。

場所 役場2階 議場

傍聴時は感染症予防の観点から
マスク着用をお願いします



広報常任委員会

委員長	青砥 與藏
副委員長	菊地 哲也
委員	吉田 広明
委員	七宮 広樹
委員	吉村 守広
委員	鈴木 元久